



## (1) 事業名称等

【事業名称】 高畑AIR歴史資源活用モデル事業

【実施団体】 一般社団法人高畑トラスト

【事業経費】 1,000,000円

## (2)事業の目的

### ミッション:

奈良市高畑の歴史資源を活用したAIR事業の有効性・実現性を検証すること。

### 背景:

事業の核となる藤間家住宅では、「歴史建築の保全」という目標に向け、行政、春日大社、識者、地域住民が連携することにより、着実に環境整備が進んできた。

今後の活用面でも、地域内のネットワーク形成は、藤間家と高畑を文化地区として発展させるために有効かつ重要である。

本事業では、建築と地域の調査および自立的なAIR事業に必要な要件の調査によって、豊かな歴史資源を基盤にした、過去・現在・未来の交差する新しい文化地区モデルとして発展させることを目指す。

### (3) 事業活動の内容

- 調査活動（通年）

- a) 聞き取り調査：

- 周辺住民および施設に対し、個別に実施

- b) AIR資料・実地調査：

- 国内外の調査資料検証、AIR国際会議等にも参加し情報収集

- c) 建築、文書類および景観調査：

- 専門家の協力により資料編を作成、藤間家と高畑における事業展開に有効なモデルを検証

## ▪ 第1回トークセッション

タイトル: 高畑歴史資源を活かすAIR  
登壇者: 佐久間 信悟、大久保 泰祐(一般社団法人ノオト)  
日時: 平成30年9月28日(金) 13:30~15:30  
場所: ならまちセンター 会議室3・4 (奈良市東寺林町38)  
参加人数: 21名

## ▪ 第2回トークセッション

タイトル: 検証AIR  
課題解決に至る新モデル  
日時: 平成31年3月1日(金)  
10:00~11:30  
場所: ならまちセンター コトコト  
定員: 15名



## ▪ 講演会

タイトル: 高畑AIRの可能性への期待  
世界を魅了する日本の木版画の歴史  
—水性木版画AIRの紹介—

講師: 佐藤 靖之 氏 (産業人文学研究所)  
日時: 平成31年1月27日(日)14:00~15:30  
場所: 大和文華館 文華ホール  
定員: 38名

## (4) 事業の成果

- 地域内各所での聞き取り調査 → 現行の課題を抽出



- AIR資料および実地調査 → AIRに求められる要件を検証



- 建築と文書類、景観調査 → 高畑歴史資源の特性の明確化



- トークセッションと講演会 → AIRに有効なヒトと資源の発掘



## (5) 事業実施後の課題

現在までの地域調査から、狭い範囲に東西4本の道筋に分かれる高畑地区を、住民の層や気質によって4つの属性に分類した：

- ・ 公園に接し明治以降移住した別荘的感覚の富裕層
- ・ 昭和にできた道に新しく移住した若い層
- ・ 柳生街道に面し旧市街的美意識を持つ高い年齢層
- ・ 旧高畑との交わりが希薄で関心が少ない層

地域住民に支持される事業を自立的に展開するにあたり、このように異なる考え方をを持った住民達にも受け入れやすい、ゆるやかな協同モデルの提案が必要になると考えられる。

AIRのトライアル事業を通じ、AIRの事業的視点から見た有効モデルの発展と、地域住民との共生を両立できる仕組みづくりを、段階的に両立させていくことが課題である。

## (6) 今後の展開

高畑におけるAIR事業の中心となる藤間家住宅では、平成30、31年度の改修工事により、中央4室が復元整備されるとともに、ギャラリーとスタジオとしての機能が強化される見通しである。

今後は、近隣の文化施設、宿泊施設、AIRワークショップに関わる施設との連携を強め、現時点で見た課題解決への道筋を探る。

またAIRトライアル事業の実施を予定し、高畑独自のプログラムを、2020年奈良で開催される国際水性木版画会議で発信することを目指す。

国内外に向けて文化、歴史、芸術の高畑というブランドイメージを高め、地域社会への貢献へとつなげたい。

